

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用(放課後等デイサービス)

公表日: 30年12月15日

※() 数字は実数。利用者数20、回答数15。無回答欄があり、回答数が15にならない項目あり。

事業所名: ぼぼデイ名塩駅前

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースとしては十分でない面があるが、活動内容を分散する等によって、安全なスペースを確保するよう努めている。	(はい 5、どちらともいえない 10、いいえ 0、分からない 0) * 私の子は活動的なタイプでないので十分だと思います * 広さは…ですが、課外活動などが多く、活動内容には満足しています。	日常的な整理整頓によってスペースの確保に努めると共に、現行のように、公園、児童センター、系列のぼぼデイ東山台等に活動の場所を分散する等の工夫をする。
	2 職員の適切な配置	個々のお子さんの特性を考慮した配置(数)を心掛けている。	(はい 13、どちらともいえない 2、いいえ 0、分からない 0) * いつも丁寧で親切なアドバイスや情報共有を心掛けていただいています。	活動をできるだけ「集団化」する等の運営上の工夫により、「適切な配置」に近づきたい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	療育に使用できる部屋が1、2階に分散して2室あるが、狭い階段での行き来になるため、お子さんによっては移動が困難。	(はい 15、どちらともいえない 0、いいえ 0、分からない 0)	基本的に「狭さ」の問題があり、利用者の数が多くなると、それだけで話し声の影響が大になるため、できるだけ「分散」を心掛けたい。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃チェック表により日々の清掃を確実にし、また教材の整理等により、清潔で住みよい住環境を保つよう努力している。	(はい 13、どちらともいえない 2、いいえ 0、分からない 0)	建物の全体的構造から言えば、多人数の子どもたちが過ごす生活空間としてはふさわしくない面もあるが、清潔を心掛けて、気持ちよく過ごせる空間にしたい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	活動前の打ち合わせに前回活動時の反省を伝達したり(連絡帳を活用)、職員会議、ケース会議、研修等により、意見の吸い上げ、集約に努めている。	/	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	西宮市児童通所 支援連絡会の相互評価システムに参加している。	/	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修の機会をつくと共に、月2回の内部研修を行い、またケース会議を研修の場としても活用している。	/	
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	必要があれば客観的な発達検査を活用すると共に、常勤職員間での意見交換を大切にしている。	(はい 14、どちらともいえない 1、いいえ 0、分からない 0)	客観的な検査等の活用も大切であるが、いわゆる「観察」や、支援者としての「理解」を大切にしながら、「見方の意見交換」のプロセスを大切にしていきたい。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	公園での運動遊びや室内でのゲーム遊び等、普段の関わりのなかで、協同性や自己表現、あるいは協調性などを意識した指導を心掛けている。	/	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	ADL, 社会性、コミュニケーション、身体、認知の各領域を柱として、子どもさんの特性に応じて重点を決め、計画設定している。	(はい 14、どちらともいえない 1、いいえ 0、分からない 0)	支援計画における各領域間には、当然ながら「重なり」があり、その部分を意識しながら、実際の支援を行いたい。
適切な支援の提供 (続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画を職員が容易に閲覧できるようにファイルを保存し、職員が常に支援計画を意識し、支援内容を参照できるようにしている。	(はい13、どちらともいえない2、いいえ0、分からない0)	ケース会議を利用して、支援計画に沿った支援が行われているか、各々の職員が日ごろの支援内容を見直す機会をつくるようにしてきたが、今後も継続したい。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	常勤職員2人が中心になってその日の利用者に合わせて活動プログラムを立案。近隣の児童センターの行事や活動にも参加するようにしている。		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	特に土曜日の活動については、交通機関の利用や公共施設の利用を通じて、社会経験を増やすことができるよう配慮している。		
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	利用者の方たちの特性に応じて、利用日毎に継続的に取り組むこと、希望に基づいて実施する活動、こちらの提案によって実施する活動などを組み合わせている。	(はい 13、どちらともいえない 3、いいえ 0、分からない 0)	お子さんによって、いつもしたいこと、すべきこと、逆に(季節的行事等)単発的に入れるべきことなど、配慮しながらプログラムを立てたい。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	必ず活動前の打ち合わせを行っている。		
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	勤務時間の都合上、支援終了後の長時間の振り返りが難しいので、活動前の打ち合わせに反省として前日の活動について伝えたり、職員間の連絡ノート、あるいは定例の会議等も情報共有に活用している。		
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	「記録」の意味、意義について繰り返し職員間で確認すると共に、記録を活用することによって支援の検証・改善につなげていることを職員間で共有するようにしている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	ケース会議や場合によっては研修、職員会議も活用して支援計画の見直しに充てている。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達支援管理責任者は特別支援計画の経験を持ち、常勤職員の保育士は相談支援専門員資格を持ち、それぞれ経験を活かして会議に参加している。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアの必要なお子さんの受け入れはしていない。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアの必要なお子さんの受け入れはしていない。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	個別支援計画の説明に際し、支援記録等をもとにした書類を活用するなどして情報共有に努めている。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	まだ該当する利用者はいないが、今後は検討していきたい。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	特に常勤職員については、専門機関での研修について、機会を見つけて受講するよう配慮している。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	近隣の児童センターでの行事に参加したり、新年会で地域ボランティアによる演劇を鑑賞するなど、十分な機会の確保は難しいが、交流の機会を持つようとしている。	(はい 7、どちらともいえない 5、いいえ 0、分からない 3) *児童センターに行ったりしてくださっていますが、なかなか一緒に活動は難しいと思います。

子どもさんの特性に合わせて対応しているが、児童センターの活動に興味や意欲、関心のあるお子さんについては、希望をかなえられるように配慮している。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	近隣の児童センターでの行事に参加したり、新年会で地域ボランティアによる演劇を鑑賞するなど、機会の確保は難しいが、交流の機会をもちようとしている。		
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援会議、事業所内相談、お迎え時等を利用して、丁寧な説明を心掛けている。	(はい 14、どちらともいえない 1、いいえ 0、分からない 0) *利用者負担についてはよく分かっていません。	利用説明の際に不明確な点があったようなので、今後注意していきたい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画作成の際、保護者と面談の上、支援についての考え方をお伝えしている。	(はい 14、どちらともいえない 0、いいえ 0、分からない 0)	今後も家庭や学校での様子を情報として共有しながら、ぼぼデいの役割を明確にし、支援をしたい。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	相談支援事業所等と連携して、ペアレント・トレーニングを実施している。	(はい 9、どちらともいえない 3、いいえ 0、分からない 3) *以前受けたペアトレは未就学児対象の保護者対象だったので、そういうプログラムを受けてみたい「です。	ペアトレについては近隣の相談支援事業所の協力のもと、今年度も実施できた。広報を充実したい。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者の連絡帳の記載内容等に留意して、必要な場合は支援の状況や課題について話し合っている。	(はい 14、どちらともいえない 1、いいえ 0、分からない 0)	送迎のある保護者についてはできるだけ具体的な情報を口頭でもお伝えするように心がける。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者から相談があった場合、あるいは連絡帳に悩みが記載されている場合、手紙等も利用しながら、あるいは面談により、情報を伝え、助言するようにしている。	(はい 14、どちらともいえない 2、いいえ 0、分からない 0)	保護者からの「発信」についてはこれからもセンシティブに対応していきたい。特に「共感」から出発して、考えや情報を伝えるように努めたい。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会の広報等に協力している。	(はい 14、どちらともいえない 0、いいえ 0、分からない 0) *私自身が出席できていないので。	保護者会開催について通信に掲載し、また掲示物を施設玄関に掲示するなど、広報に協力する。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合の処理について、保護者に事前に事業所としての対応姿勢・方法を伝えている。	(はい 13、どちらともいえない 0、いいえ 0、分からない 1)	まだ深刻な苦情等の経験はないが、小さな苦情に丁寧に対応することによって、大きな苦情に成長してしまうことがないように、配慮したい。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	単に課題を伝えるのではなく、支援者として、子どもの心や気持ちに寄り添う経験をノートや面談により、あるいは通信等により、保護者に伝えるようにしている。	(はい 14、どちらともいえない 0、いいえ 0、分からない 0)	できるだけ話しやすい雰囲気を感じてもらうために、日常の対応から配慮していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月に1回、「ぼぼデイだより」を発行し、行事や連絡事項、あるいは療育に対する考え方などを発信している。	(はい 13、どちらともいえない 1、いいえ 0、分からない 0)	ただ単に便りを渡すばかりではなく、内容に面白みがあるように工夫すると共に、目を通していただくよう促すこととしていきたい。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	研修、ケース会議、職員会議等の際に、個人情報に関する書類は閲覧後回収するなどして個人情報の取扱いに留意している。	(はい 10、どちらともいえない 4、いいえ 0、分からない 0)	今後も留意していきたい。特に退職者が出た場合などに気を付けたい。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアルは策定し、職員には研修等で伝達している。	(はい 9、どちらともいえない 1、いいえ 2、分からない 2) * 私自身が理解していないので、分からないにさせてもらいました。	保護者には利用開始時のみの説明なので、わからないという意見が多いものと思われる。定期的に通信等で訓練の様子をお伝えするなどして、不安がないようにしたい。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月に1回、火災、地震、不審者に分けて、訓練している。	(はい 6、どちらともいえない 3、いいえ 0、分からない 5)	保護者には利用開始時のみの説明なので、わからないという意見が多いものと思われる。定期的に通信等で訓練の様子をお伝えするなどして、不安がないようにしたい。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	特に、無意識に行ってしまう虐待について職員の意識を高めるよう研修で配慮している。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	重要事項の説明の際に、保護者に伝えている。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーについては、医師の処方が必要な保護者から情報を得て、必要な対処を行っている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎月の職員会議で「今月のヒヤリハット」として報告し、情報を共有するようにしている。		
6	子どもは通所を楽しみにしているか	ぽぽデイ名塩駅前に通うことが楽しいと思えること、そのことが全ての支援の出発点であり、ゴールでもあると考えて取り組んでいる。	(はい14、どちらとも言えない0、いいえ0、分からない0)	利用者である子どもさんはいつも自分の気持ちを大人に分かり易い形で表現してくれている訳ではないことの重みを感じつつ、日々の支援にあたりたい。
6	事業所の支援に満足しているか	「事業所の支援の満足度」の中身は、単に利用者である子どもさんへの直接支援だけではないという自覚をもって、日々の活動を行っている。	(はい14、どちらとも言えない0、いいえ0、分からない0)	これからも「保護者に寄り添う姿勢」を大切に、日々の活動を行いたい。